

## H26 クサギカメムシ フェロモントラップ

集合フェロモンを利用して発生量を調査しています。誘殺虫数が平年より増加した場合、果樹園への成虫飛来が多く、吸汁被害が発生することがあります。

加害作物：もも、うめ、かき、発生量が多い場合にはぶどう、みかんなど

調査地点：羽曳野市、河内長野市、岸和田市

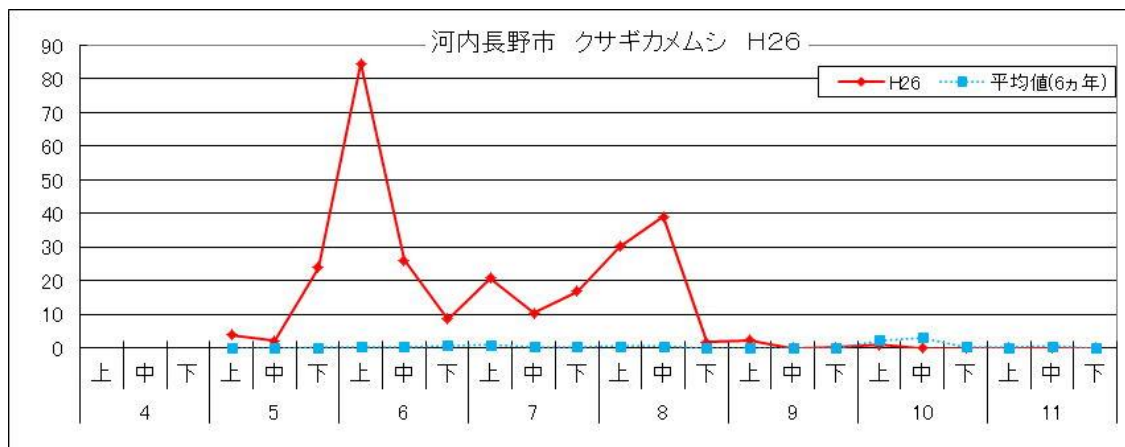
※平成 26 年度は羽曳野市以外は 5 月より計測

### 誘殺虫数(旬別)

羽曳野市 H26. 10. 31現在 (今年度調査終了)



河内長野市 H26. 10. 30現在 (今年度調査終了)



岸和田市 H26. 10. 31現在 (今年度調査終了)

